

## 総務経済常任委員会会議記録（概要）

令和4年11月24日（木）

開 会（午前11時0分）

### 【議 事】

#### ○特定事件「行政経営について」

##### ・期日前投票所について

亀山委員長

特定事件「行政経営について」のうち、「期日前投票所について」を議題といたします。当委員会では、平成29年2月14日に、投票率の向上に関する提言を行って以降、本議題につきましては、機会あるごとに審査を行ってきました。これらを踏まえ、令和4年7月の参議院議員選挙における改善点等、市の取組について審査を行うものです。

### 【概要説明】

渕江選挙管理  
委員会事務局  
長

第26回参議院議員通常選挙において、3か所目の期日前投票所を設置いたしました。まずは全体の概要を御説明いたします。

公示日は本年6月22日、投票日は7月10日でした。選挙区選出の定数が前回の参議院議員選挙から改正され、定数が8名となりましたが、偶数年に執行される選挙で4名選出となるのは、今回が初めてとなります。選挙区の立候補者は、前回まで7人から10人で推移してまいりましたが、今回は15人に増加いたしました。比例区の立候補者も、前回の15人から178人に、政党数も13から15に、増加いたしました。

次に、全体の投票状況ですが、有権者数は、29万606人で、前年の衆議院議員選挙から186人増とほぼ横ばいに推移しております。

投票者数は、15万4,952人で、投票率は53.32%でした。投票率は前年の衆議院議員選挙より3.65ポイント低いものでしたが、前回の参議院議員選挙の47.65%に比べますと、5.67ポイント高かったものです。

なお、埼玉県平均の投票率は50.25%、全国平均の投票率は52.05%でしたので、市の投票率はどちらも上回る結果となりました。また、主な埼玉県内他市の投票率は、川口市は46.48%、川越市は49.16%、越谷市は49.44%でした。

続きまして、期日前投票の状況です。まず、期日前投票所の会場は、所沢市役所1階の市民ギャラリーと所沢駅東口市民ギャラリーの2か所に、生涯学習推進センター体育館を加えた3か所で開設いたしました。開設時間は、3か所とも午前8時30分から午後8時まででした。期日前投票者数は3万8,548人で、前年の衆議院議員選挙と比べると427人の減、割合では1.1%の減と、わずかながら減少となりました。有権者に対する期日前の投票率は13.3%でした。前年の衆議院議員選挙の投票率は13.4%でしたので、ほぼ同じ水準でした。期日前投票の期間中は、最終3日間を除き各期日前投票所は、おおむね1日当たり1,000人から1,600人台で推移しましたので、全体的には、期間を通じて混雑をすることなく、投票受付ができました。

続きまして、期日前投票期間中の最終3日間、今回から新たに、生涯学習推進センター体育館に期日前投票所を開設いたしましたので、その投票状況について御説明いたします。

生涯学習推進センターでの期日前投票所の開設については、これまでの衆議院議員選挙で期日前投票期間中、特に最終日等で混雑が生じてきたことから、7月7日から7月9日までの最後の3日間に、生涯学習推進センターの体育館で開設したものでございます。3日間の合計利用者数は、1万4,465人で、前年の衆議院議員選挙と比べて1,780人減少し、割合では11.0%減となりました。投票所別の内訳を申し上げますと、市役所市民ギャラリーで5,836人の利用者があり、前年の衆議院議員選挙と比べると2,991人減少しました。所沢駅東口市民ギャラリーは利用者が6,656人で、前年の衆議院議員選挙と比べると762人減少しました。生涯学習推進センターでは、全体の13.6%を占める1,973人の利用者があったものです。

また、最終日の3か所の合計利用者数は6,755人で、前年の衆議院議員選挙と比べると330人増加し、5.1%増となっております。同じく投票所別の内訳を申し上げますと、市役所市民ギャラリーが2,501人で、前年の衆議院議員選挙と比べると910人減少しました。所沢駅東口市民ギャラリーは3,157人で143人増加しました。生涯学習推進センターは全体の16.2%を占める1,097人の利用者がありました。

最終日の生涯学習推進センターと市役所市民ギャラリーの利用状況を

見ますと、生涯学習推進センターで1,097人の利用があった一方で、市役所市民ギャラリーでは2,501人の利用があり、3,411人の利用のあった前年の衆議院議員選挙に比べますと910人減少したことから、市役所の利用者の一部が、生涯学習推進センターに一定程度分散したものと捉えているところです。今回の参議院議員選挙の期日前投票所等の内容につきましては、以上です。

**【質 疑】**

平井委員

参議院議員選挙において、所沢市の投票率は上がったということか。

小林選挙管理  
委員会事務局  
次長

令和元年7月の参議院議員選挙の投票率が47.65%で、令和4年7月の投票率が53.32%でしたので、上がっています。

福原委員

期日前投票所の増設の今後に対する考え方、反省点、よかった点等、選挙管理委員会としてどのようなやり取りがあったのか。総括を伺いたい。

湊江選挙管理  
委員会事務局  
長

選挙が7月10日にありましたので、8月または9月の選挙管理委員会等で意見交換、協議をしております。その中で出た意見、内容として、生涯学習推進センターを期日前投票所に加えたため、朝の開設から夜8時過ぎの閉鎖まで担当がいなければならないため、職員の負担が重かったよう

に感じた、また、職員の負担を解消するマンパワーの確保が難しいと感じたなどの御意見もいただきました。3か所目の期日前投票所として継続していくべきかという点については、あまり効果がなかったという否定的な意見もありましたが、一方で、市役所での投票が1,000人弱減り、生涯学習推進センターで970人の利用があったことから、分散されたと捉えてもよいのではないかという御意見もありました。今回、体育館で開設しましたが、体育館の入口の位置が高く、設置していたスロープが急であったが、付近が駐車場のため、あまり緩やかにすると駐車場にはみ出してしまうという御意見もありました。利用者数の把握については、今回初めて行ったものであり、十分な効果があったのか、不十分であったのかは測り切れないところです。継続した方がよい面もあるのではないかという御意見もありました。

福原委員

マンパワーが足りない、負担が増えたという件について、今まで2か所で行っていた人数で3か所を担当したのか、それとも増員した状態で行ったのか。

渚江選挙管理  
委員会事務局  
長

受付等を行う職員2名と、残りは派遣委託で行っているところです。選挙管理委員会、文書行政課で兼務している職員を中心として、鍵を開け、投票用紙を持って行く、開設の準備をする、午後8時の投票締切後に数を数える、翌日の準備をするという作業があります。事務従事者をお願いし

ている一般の職員ではなく、選挙管理委員会の職員を中心に今までも2か所派遣しておりましたので、今回も同様に選挙管理委員会の職員で対応するようにしたものです。

福原委員

数が増えるとその分の事務作業が増えることや、鍵を開けに行くと大変だということについて一定の理解はできるが、所沢市の中心に近いところでもあり、負担がゼロとは言わないが、ある程度の許容範囲の中でできていると感じる。足りない、大変だということであれば増員も必要かもしれないが、選挙管理委員会全体としてどのように捉えているか。

淵江選挙管理  
委員会事務局  
長

選挙管理委員会の職員もそうですが、一般の選挙事務に従事してもらう職員においても、従来から投開票で800人くらいの職員を確保しないといけないのですが、その確保についても従来から苦慮してきたところがあります。それに加えて、新型コロナウイルスの対応で人員が必要になってきたことを考えると、職員の確保、マンパワーが難しいという御意見かと思えます。

福原委員

選択肢が増えたことによって混雑が減り、集中しないで分散したのではないかという判断か。

淵江選挙管理

最終日におきましては、市役所での投票が1,000人弱減り、生涯学

委員会事務局  
長

習推進センターで約900人の利用があったことから、そういった数字から見ますと、分散は一定程度あったのではないかと推測できるかと思えます。ただ、衆議院議員選挙と参議院議員選挙を比べると、衆議院議員選挙は3種類の投票を行います、参議院議員選挙は2種類の投票ですので、投票所での滞留時間等が若干短くなりますので、令和3年に行われた衆議院議員選挙と比較しましたが、そういった要素も加味した上で判断しなければならぬと考えています。

平井委員

所沢市の東側に生涯学習推進センターがあり、便利になった一面があったこと、分散したことによっていろいろな効果があったことも分かったが、三ヶ島地区は市役所に行くまでに電車に乗り、所沢駅で乗り換える必要があり、期日前投票に行くのが面倒くさいという声がたくさんある。所沢の西側の方でも狭山ヶ丘駅の駅前に、狭山ヶ丘コミュニティセンターがあるのでそこでやって欲しいという声もとても多い。そういった意味では、マンパワーの問題もあるけれども、分散して期日前投票所を作るということは議会からも声が上がっていると思う。検討したことがあるか。

湧江選挙管理  
委員会事務局  
長

まず、平成29年にいただいた提言のほかにも、一般質問ですとか、いろいろな機会に御意見等をいただいていることは承知しているところ。平成29年の提言のあと、御指摘いただいた所沢駅などの施設等につきましては、調査をいたしました、継続して安定的に使える点等で

適するところがないというお答えをしていたかと思います。現在に至っても、特に新たな商業施設等はありませんので、注視しながらも新たな設置が進まなかったものです。そうした中、新型コロナウイルスで密になってはいけないという状況もあり、市役所の期日前投票所では終盤の午後8時近くでも駐車場に入るのに列になっていたり、投票所に入るのにも列ができてしまったことから、生涯学習推進センターの開設に当たっては、まずは市役所の混雑緩和を初期の目的として実施したものです。

投票環境を整備していくことは、一つの重要な課題であると思います。その中で、期日前投票所自体の拡充が一つにあるかと思いますが、新型コロナウイルスが発生したことを受けて、投票環境の整備といった面において、職員の拡充や、今回の参議院議員選挙で61か所の投票所を62か所に拡充した点は、投票環境の整備に努めた点として申し上げていいのではないかと考えます。

平井委員

特に国選の場合は期間が長いので、皆さんが投票しやすい場所を確保するということが投票率アップにつながるということでは、一度具体的に検討してみてやるとか、例えば生涯学習推進センターで3日間やったように、三ヶ島で言えば狭山ヶ丘駅前の狭山ヶ丘コミュニティセンターは便利がいいところで、あそこでできないことはないなと思っているが、具体的な検討をしたことがあるのか。



渚江選挙管理委員会事務局長 平成29年の委員会からの提言を受け、選挙管理委員会として、例えば所沢駅構内のトコニワやとこてらす、旧駅舎、ワルツ所沢の8階といった御指摘いただいたところにつきましては、その後調査、確認をしましたが、ほかの予約があると急な対応が難しい、営業時間が市で実施する投票開設時間と異なるなど、いろいろな理由でなかなか適するものがないという状況でしたが、検討はしておりました。

大舘委員 今回の検証のメンバーは何人で、どのような人か。

渚江選挙管理委員会事務局長 選挙管理委員会は選挙後も、月1回程度開催しておりますので、先ほど申し上げたような数字を報告し、協議、意見交換を選挙管理委員4名にしているところです。

大舘委員 4名だけということか。

渚江選挙管理委員会事務局長 選挙管理委員が4名ですので、その選挙管理委員で行っています。

大舘委員 先ほどから人間的な話があるが、あらかじめ各部署からの意見を集めたものを委員会に出しているということか。委員は人間的に大変だということか。

とは分からないと思うが。

渚江選挙管理委員会事務局長  
選挙管理委員につきましては、期日前投票所において、分担して数日、投票管理者をお願いしたり、投票日当日では、手分けをして各投票所を回っていますので、それらの所見等をいただいています。

大館委員  
選挙に対し800人集めるのはあくまで事務方であり、事務方でないと大変さは分からないと思う。そこに1日いても、1日の流れを見るだけであり、選挙が始まる前の細かい事務に必ず委員が立ち会うわけではなく、選挙のときに立ち会っているだけだと思う。それなのに、その4人の委員は人員的に大変だと分かるということか。

渚江選挙管理委員会事務局長  
断定的に言われるというよりは、感想という形で言われるものもあります。委員から御指摘いただいた、市職員800人の従事につきましては、今まで引き受けていただいた方等を中心に、事務局で調整しています。

大館委員  
61投票区から62投票区に増えたことと、期日前が3日増えただけで、トータル的な人員に極端に負担になるようには思えないが、大変だというのはどの部署から出てくる話か。

渚江選挙管理  
マンパワーに係る部分ですと、意見ですので、委員がおっしゃるとおり

委員会事務局 期日前の生涯学習推進センターであれば3日間で、投票所が増えたといっ  
長 ても1か所ですが、従来から人が集まりづらいということに加えて、前日  
に新型コロナウイルスの陽性になった人を補填する作業等で、今までとは  
違って負担が増えてきたところがあるということです。

島田委員 他のものでできないかということは調べられたと思うが、他市ではい  
ろいろなところで期日前投票所を開設している。秋田県秋田市は、JR秋  
田駅の自由通路に開設している。やれるところがあるのに、先ほどから大  
変だとか、ネガティブなコメントだが、本市だけできない理由をいくつか  
挙げていただきたい。

渟江選挙管理 施設内等で期日前投票所が開設できない理由ということですが、駅構内  
委員会事務局 のトコニワなどは、エレベーターから階段で上がらざるを得ない施設であ  
長 るとか、駅構内だと鉄道の利用客として改札に一度入らないといけないた  
め、投票所とするのは難しいということです。ワルツ所沢については現地  
に行きましたが、柱の位置や面積自体で難しいということ、イベントス  
ペースのため衆議院議員選挙のように不規則に生じた時ですと、予約が入  
っていると対応できないということで、そういった意味で適する施設が少な  
いということです。

島田委員 今後統一地方選挙があるが、期日前投票所を増やしていくのか、ホール

の混雑緩和を軽減するために生涯学習推進センターだけ開設するのか、方針を伺いたい。

渕江選挙管理委員会事務局長 今回の参議院選挙において、生涯学習推進センターにおいて3日間、期日前投票所を開設して、市役所の混雑緩和が一定程度できただろうという評価ですが、今まで混雑していなかった地方選挙においても効果が十分出るものなのか、今選挙管理委員会で検討しているところです。

島田委員 各地区にはまちづくりセンターがあつて、ホールもある。民間施設や駅舎は設置者の事情で困難な部分があるのは理解できるが、各地区には公共施設があるため、そこから当たるのが筋ではないか。提言では市内に最低4か所設置してほしいと申し上げているわけで、公共施設でできない理由を伺いたい。

渕江選挙管理委員会事務局長 提言をいただいた後に調査等をさせていただき、担当部署に確認したところ、まちづくりセンターとして通常行っている業務がありますので、今回であれば17日間期日前がありましたので、業務を停止してスペースを提供するのは難しいというような回答が当時ございました。また、利便性という点であれば、どのまちづくりセンターも駅から離れているということで、適さない施設だと判断させていただいたということです。

島田委員

効果と言うが、他市の事例を見ても、期日前投票所がたくさんあるから投票率が上がるのかというと、必ずしもそうではないということは理解している。特に地方選挙は関心が低く、どこの市でもそういう傾向はある。しかし、市民サービスを考えると、お年寄りや障害をお持ちの方が投票に行くときに、市役所や所沢駅東口まで行かなくてはならないということは、地域間の利便性の格差を生んでいることになる。効果というものを、何においているのか。例えば10%上がらないと効果がないという話なのか。そうではなく、利便性の格差を埋めるべきだという観点からも、東西南北1か所ずつ、まちづくりセンターのホールとか体育館とかでできないものか。その辺の検討はどうか。

淵江選挙管理  
委員会事務局  
長

統一地方選挙における生涯学習推進センターでの開設について、効果という話をいたしました。参議院選挙における生涯学習推進センターの開設理由が、国政選挙における市役所の期日前投票所の混雑緩和を目的として、最後の3日間で1か所ということで開設したものです。その延長として考えたときに、地方選挙の投票率は低めで、期日前投票においてもあまり混雑が生じなかったという点を踏まえると、効果があるのかというような意味合いで申し上げたものです。具体的に何%ないといけないというものではないです。

島田委員

そうすると、次の統一地方選挙で、生涯学習推進センターの開設はしな

いということか。

渚江選挙管理委員会事務局長  
選挙管理委員会の中でも意見をいただいているところです。そういった点も踏まえて検討させていただいている段階です。

島田委員  
利便性の地域間格差があってはいけないと思うが、そこについてはどのように考えているか。

渚江選挙管理委員会事務局長  
設置する施設の条件として、安定して継続的に使用ができる施設である一方、急な案件にも対応できることと並んで、地域間のバランスというのは大事なかなと考えています。今後新たな施設で開設ということになれば、当然地域間のバランスは大切な要素になるものと認識しております。

平井委員  
生涯学習推進センターで3日間開設したことを評価されているが、いつもやれない理由ばかり聞かされているため、やってみることは一歩前進と思う。一週間はできなくとも3日間に限定してでも、やってみるということに取り組んでいただきたい。生涯学習推進センターでやってみて、地域の方は喜んだと思う。これからの高齢化社会に向けて、歩いて行ける場所に期日前投票所があることは投票率アップにつながるため、検討課題として試行的に、具体化してやってもらわないとせっかく出した提言が何のた

めに頑張ってきたのかとってしまうので前向きな方向でやっていただ  
きたいが、検討課題としてどうか。

渕江選挙管理  
委員会事務局  
長  
選挙管理委員会、また選挙管理委員会事務局職員といたしましても、投  
票しやすい環境にすることは、バリアフリーや投票所を増やすことと並ん  
で進めていきたい思いはありますが、開設するには課題もあるため、可能  
性を検討していくことは大事なことだと思っています。

**【質疑終結】**

休 憩（午前11時45分）

（休憩中に協議会を行った。）

再 開（午前11時57分）

平井委員  
これからの高齢化社会に向けて、地域間格差をなくすためにも、期日前  
投票所をせめて東西に置くような形で検討してもらいたいということが  
委員の総意だと思う。地域間の格差がありすぎることで、また、投票率アッ  
プにもつながるため、今後も審査を継続することを提案したい。

亀山委員長  
ただいま御提案をいただきました、特定事件「行政経営について」のう  
ち、「期日前投票所について」、今後も審査を継続するというに御異  
議ありませんか。

(委員了承)

御異議なしと認め、そのように決定しました。

散 会 (午前11時58分)